

豊かな海ってどんな海??

すきとおってきれいな海って、豊かな海かな?

海の栄養が少ないとどうなるの?

※こたえは、このページのどこかにあるよ!

えいよう 栄養 多



えいよう 栄養 少



えいよう 栄養 多



えいよう 栄養 少



ふっくら 美味しいよ!

エサを十分に食べているから、ゆでるとおなか赤くなる。

やせているよ...

エサを食べていないから、ゆでてもおなか赤くならない。

美味しいよ!

黒くて、かお香りがよい。

おいしくないよ...

黒くならず、香りもない。

多い年には4万トン以上とれていたイカナゴ。近年では、わずかに千トンにまで減少しました。海の栄養が少なくてエサの動物プランクトンが減ったことも原因です。やせた魚も多くなりました。

兵庫県は日本有数のノリ産地。でも、海の栄養が不足すると、色が薄くなり、育ちも悪くなります。色の薄いノリは、香りもなく、味もイマイチ。

生き物が育ちやすい海ってどんな色?

海の色は、海水中に植物プランクトンがどれだけいるかが決め手! 豊かな海って、何色かな?

1. 青くすきとおった海



栄養不足。エサとなるプランクトンが不足しているので、生き物・魚もふえにくく、育ちにくい海。泳ぐには、いいけれど...

2. 少し緑の海



栄養ちょうどよい。エサとなるプランクトンが十分あるので、生き物・魚も多い。バランスのとれた海。

目指したい海の姿

3. 茶色く濁った海



栄養多すぎ。エサとなるプランクトンが十分すぎるほどあり、生き物・魚は多い。魚が食べきれないプランクトンが赤潮やヘドロとなり、腐ると被害が出る。

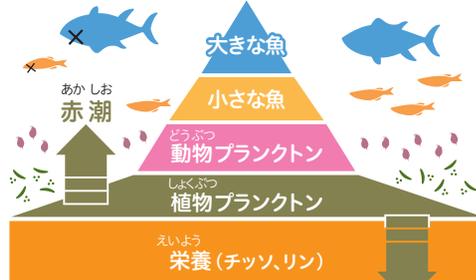
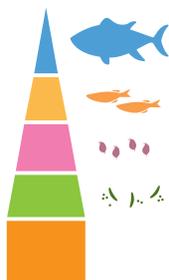
大きな魚

小さな魚

動物プランクトン

植物プランクトン

栄養(チッソ、リン)



栄養 少

栄養 多

ヘドロ

ひょうごの魚を食べると、豊かな海に

～豊かな海を守る、海と陸のつながり～

兵庫県では瀬戸内海を豊かな海にするため、適切に栄養を循環させる取り組みを進めています。



瀬戸内海では今、青くすきとおった海域が増えてきているのを知っていますか？

これは、海の栄養が減りすぎたため。プランクトンが少なくなり、魚も減っています。

魚をとることは、海の栄養を陸にとりあげるといこと。

豊かな海のためには、海と陸との間でバランスよく栄養を循環させる必要があります。

いつまでも新鮮でおいしい魚を食べるための、大切なポイントです。

これからも豊かな海の恵みをおいしくいただきましょう！

第41回 全国豊かな海づくり大会 令和3年兵庫県で開催決定！

作成：ひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会（構成団体：兵庫県、神戸市、明石市、兵庫県漁業協同組合連合会）

